

# 湘南民主クラブ

山口 聖議員

## 総合交通計画

問 具体的な数値目標がなく不満である。民間企業ではコストも含めて取り組んでいる。自治体運営も経営感覚が必要と考えるが。

まちづくり政策部長 この計画は方針や方向性を定め、それに基き具体的な事業を進めていく。数値目標の設定はなじまないと考える。

問 高齢者に対し、安全面では具体的にどのような配慮をしていくのか。

まちづくり政策部長 乗り降りや乗車になるノンステップバスの導入促進や、ベンチなど高齢者の待合環境の向上も検討していきたい。

問 公共事業の見直しが進む中、透明性や公平性を今後どう確保していくのか。

まちづくり政策部長 最終的には都市計画決定となり、法に基づく縦覧等の手続きなどもあるため、十分市民から意見が得られる。

## 産業振興計画

問 地元企業の育成、強化策について伺いたい。

経済部長 大学の知的財産の活用や、事業の拡大を図るため、製造に係る機械等の導入費用の一部助成などの施策を展開していきたい。

問 例えば、漁業については計画の中では経営支援をしていきたいとある。今年度はエチゼンクラゲの来襲が

あつたが、どこまで支援するのか。

経済部長 具体的な事業については、その中で反映していければと思う。エチゼンクラゲの件は、漁具の改良などを必要とする場合は制度資金等の相談に乗ればと考えている。

問 観光を重要な産業と位置づけているが、例えば湘南平の桜は世界に誇れるものである。また韓国の人気ドラマの撮影場所の誘致や留学生モニター制度など、低予算でもできるものがあるかと考えている。

市長 観光拠点となるところはあつたと思つているので、掘り起こしを行いたい。

問 将来を見据えるのであれば、商工会議所の青年部や青年会議所などのまちづくり団体、神奈川県立湘南大学や東海大学の学生など若年層の意見も取り入れるべきではないか。

経済部長 要望があれば説明に伺う。その中で意見交換等を行い、よいものがあれば取り込んでいきたい。

## 駅周辺の駐輪対策

問 駅西口東地と駅前大通り線の事業概要、スケジュールについて伺いたい。

市民部長 駅西口東地については22年度中に整備し、駅前大通り線についてはラック等を設置し、一列駐輪の有料駐輪場を22年度中に整備したいと考えている。

問 西口東地駐輪場は2階

部分に渡り廊下を設けて、直接西口跨線橋の2階に向かえるよう整備すべきでは。

市民部長 将来的には駅西口中地に商業複合ビルの整備を予定しているため、そのビルを介してつなぐことは検討の一つである。

## 不妊治療の助成

問 市独自の助成を設けるべきと考えているが。

健康・こども部長 県が実施している助成事業の周知に努めてまいりたい。

問 多くの市民から声が届いているので要望する。

健康・こども部長 当事者にとっては深刻な問題と認識しているが、県の補助制度を利用することでご理解いただきたい。

## 市民センター

問 早急な整備が必要と考える。財政的に考えるのであれば、民間活力も積極的に活用すべきではないか。

市長 現在の経済状況では大変厳しいと考えている。提言をいただいているので視野には入れている。

小泉 春雄 議員

## 政権交代を受けて

問 憲政史上歴史的な政権交代が実現した。政権交代に対する見解と、新政権に対する期待を伺う。

市長 日本で初めて具体性を持った本格的なマニフェスト選挙が行われ、国民の選択によるダイナミックな政権交代が実現したと考えている。「政権交代してよ

かった」と国民が実感出来るような、大局的な政権運営を期待している。

平成22年度予算編成

問 平成21年8月末に行つた「仕事の点検作業」への見解と、結果をどう判断し予算に反映するのか。

市長 市民の視点に立ち、成果を重視した行政運営を展開することを目的に行つた。外部の視点となる市民等の意見、要望を反映すること、より効率的、効果的な行政サービスを実現する有効な手段の一つと考えている。今回の結果等を十分に尊重し、22年度予算編成に活用したいと考えている。

問 幼稚園の教材等を補助する費用が不要と判断された。仮に補助等がなくなつた場合、幼稚園の経営は非常に厳しくなり、保護者に負担を求めることになる。市民生活に直結する内容なので慎重に判断してほしい。

市長 慎重に多角的に判断して、削減なのか続けるのかの判断が求められる。真剣に議論され、予算を認められたことに対して簡単に不要と言われたと判断しないほうがよいと考えている。

## 鎌倉市競輪事業撤退訴訟

問 鎌倉市が競輪事業から撤退表明して9年以上が経過している。近く判決が出ると思うがどう判断するのか。また、これまでの裁判費用はどのくらいか。

副市長 平成22年1月29日の口頭弁論で終結し、判決

日が示されると推測する。判決が下されたら内容を精査するとともに、議会をはじめとする関係機関と調整し、弁護士と相談して最終的に判断していきたい。

公営事業部長 着手金と弁護士の日当14回分の合計で254万1000円。他に弁護士交通費である。

## プライバシーに配慮した診療体制

問 市民病院外来受診者にはプライバシーの面から名前を呼ばれるのを嫌う患者がおり、またその際の声が小さい、待ち時間や自分の診察の順番が分からないなどの不満があるようだ。番号札を活用することで解決するのではないか。

病院事務局長 番号札の活用は患者サービスとプライバシーへの配慮から検討すべきものと考えているが、導入には医事システムの改修や多数の表示板、発券機等の整備が必要である。時間がかかるが、新棟整備事業の中で対応していきたい。

問 新型インフルエンザ流行後、平塚市休日・夜間急患診療所の利用者は大変な数と聞いている。夜間および休日の最大受診者数はいつで、何人だったのか。最大待ち時間も伺う。

健康・こども部長 夜間は11月22日の186人、休日とも同日の昼夜を合わせた51人で、最大待ち時間は約4.5時間の日もあつた。問 利用者には待ち時間が分からない等の不満もあるようなので、番号札の活用

出村 光 議員

## 待機児解消に向けて

問 共働き家庭が増え保育所のニーズはますます高まっている。一刻も早い対応が求められるがその対策は。

健康・こども部長 保護者の就労希望の増加などにより平成20年の11月から急激に待機児童が増加している。入所定員の弾力的運用により20年度に比べ多くの児童を受け入れているが、今後も同様の運用を考えている。

問 めぐみが丘での取り組み状況は。

健康・こども部長 平成23年に西部地区に1園を新設する計画である。

問 受け入れ態勢の考えは。

市長 待機児童をいかに解消するか、今後も最大の力を注ぎしていきたい。

## これからの公民館

問 公民館が地域づくりの拠点となり、住みよい街づくりに貢献している。さらににぎわいのある街づくりを創出するために中央公民館の役割は大きい。活性化に向けた今後の事業展開は。

社会教育部長 中央公民館は生涯学習センターとしての機能を有し、全市域を対象とした事業を開催している。今以上に公民館事業の活性化が必要であり、22年度にはワークショップの手法を導入した新たな取り組みを実施する予定である。

問 地域と行政を結び役割として、駅前市民窓口センターを含め14か所で業務が行われているが、機能の充実が図れないか。

社会教育部長 他市の先進事例などを調査したが、費用対効果の面でも課題となっている。現段階で実施することは困難である。

## ひらつか花アグリ・花菜ガーデン

問 整備が順調に進み平成22年3月にオープンする。新たな観光スポットとしても市内外から多くの来訪を期待しているが具体策は。

経済部長 来場者を確保することは、農業の振興を進める上でも重要である。観光ルートの開発などにより来場を促進していきたい。

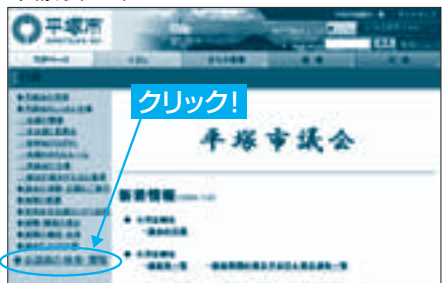
問 周辺道路の整備は。

土木部長 6路線が県市協調事業、4路線は本市単独で今後順次整備していく。

# 会議録検索システムのご利用を

議会だよりでは、審議内容などの概要のみを掲載しています。詳しい内容は、市議会ホームページ内の会議録検索システムをご覧ください。会議録検索システムでは、平成9年5月以降の本会議と臨時会会議録および平成17年3月以降の各常任委員会と平成17年2月以降の議会運営委員会会議録を掲載しています。

市議会トップページ



会議録検索のページ

